

令和4年度

農事功績表彰者名簿

令和4年11月17日

公益社団法人

大日本農会



## 目 次

	受章者数	頁
<b>農 事 功 勞 者</b>		
紫白綬有功章	1名	2
緑白綬有功章 (国内)	11名	3
北海道・東北地域	9名	6
関東地域	5名	9
北陸地域	3名	11
東海地域	6名	12
近畿地域	5名	14
中国四国地域	9名	16
九州・沖縄地域	2名	19
緑白綬有功章 (国外)	50名	
緑白綬有功章 小計	51名	
計		
<b>農 業 改 良 普 及 功 勞 者</b>		
緑白綬有功章 (国内)	4名	20
<b>農 業 技 術 開 発 功 勞 者</b>		
緑白綬有功章 (国内)	1名	21
名誉賞状 (グループ) (国内)	1団体	21
<b>本 会 功 勞 者</b>		
紫白綬有功章 (国内)	1名	22
紅白綬有功章 (国内)	2名	22
<b>令 和 4 年 度 農 事 功 績 表 彰 者</b>		
	<b>60名</b>	
(内訳)		
紫白綬有功章	2名	
緑白綬有功章	55名	
紅白綬有功章	2名	
名誉賞状 (グループ)	1団体	

# 農 事 功 労 者

## 紫白綬有功章（国内） 1名

氏 名	住 所	経営部門	表 彰 事 由
かめ い てる ただ 亀 井 輝 忠 (73歳) 緑白綬有功章 平成21年度受章	三重県 津市	複合部門 (法人)	<p>1 農業高校卒業後、トマト・キュウリ専業農家への1年間研修を経て、ガラス温室を建設し施設野菜（キュウリ、トマト）栽培を開始した。その後、切り花（フリージア、鉄砲ゆり、ストック）栽培、環境整備用の花壇苗の生産のほか、ゴルフ場の花壇設計や管理へ業務を拡大した。また、大型ホームセンターとの契約栽培や農産物直売所での直売などにより販売先を確保するとともに、隣接町に鉄骨ハウスを建設し規模拡大を図った。</p> <p>緑白綬有功章受章後は、津市内で新たに農地を取得し鉄骨ハウスを大幅に増設し、育苗プラントや発芽室を始めとする機械・システムを活用した高度な栽培に取り組み、苗生育の均質化や発芽率の向上・生育促進等により経営を改善した。また、接ぎ木ロボットを県内で先駆的に導入し、接ぎ木活着率や作業効率を上昇させた。このようなハウス栽培の高度化は、栽培面のみならず、従業員の作業軽減・労働環境の改善にもつながり、高年齢者や障がい者等を雇用している。</p> <p>2 地域の花壇苗・野菜苗生産のリーダー的役割を果たすとともに、生産拡大により地域の雇用を創出した。また、農産物直売所「美里フラワービレッジ」を設立・運営し、地産地消推進、都市との交流、遊休農地活用に貢献した。</p> <p>農業大学校学生の長期研修はじめ、青年農業者の育成に尽力した。中学生の職場体験や小学生の社会見学も受け入れている。</p> <p>高齢者施設、学校、保育園などに花壇苗の無料配付を行う他、「津市緑と花の会」会長として、春と秋に津市民緑と花の市を開催し、ガーデニング講習会講師を務めるなど、緑と花に親しむ活動を通じて花育に貢献している。</p> <p>津市緑の基本計画懇談会委員、津市の農を考える会会長、三重県担い手ネットワーク代表として、市や県の政策推進に貢献してきた。</p>

## 緑白綬有功章（国内） 48名

（北海道・東北地域 11名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
木村 秀喜 （68歳）	北海道 厚沢部町	水稲・ネギ作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>地域の野菜生産の振興及び地力維持に必要な不可欠な堆肥の安定生産を確立。地域に適した品目の模索を行った上で、品目を絞込み、徹底したコスト低減と省力化した経営を実現。</li> <li>新規品目へ先駆的に取り組み、地域の高収益作物の産地化を牽引。指導農業士、担い手育成対策協議会会長として、担い手の育成と後継者が農業に組みやすい環境づくりに貢献。</li> </ol>
吉村 俊子 （65歳）	北海道 美唄市	水稲専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>経営管理を担うなど積極的に経営に参画し、堅実な経営を实践。ジュース製造や野菜直売を行うなど高付加価値化や消費者交流の活動を先駆けて実施し地域を牽引。</li> <li>女性初の道指導農業士協会会長の他、全国指導農業士連絡会理事などを歴任。農家民泊の受入れ及び研修の受入れにより道農業の魅力発信と次代の担い手の育成に貢献。</li> </ol>
飯塚 久雄 （73歳）	青森県 青森市	水稲専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>借地と省力化による水稲の規模拡大に併せ、育苗用ハウスを有効活用し、施設野菜や果樹を取り入れることにより雇用型経営へ移行し、水稲を中心とした大規模経営を実現。</li> <li>稲わらの有効活用や通年雇用等により地域振興に貢献。幅広い研修生等の受入れや、技術普及に尽力するとともに、地域に先駆けて家族経営協定を締結し、ゆとりある経営を実現。</li> </ol>
高橋 信 （69歳）	岩手県 紫波町	水稲・果樹作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>モチ米栽培への転換と直播栽培の導入により経営規模の拡大を図り安定した経営を实践。美喜子氏を中心に特別栽培によるリング生産、農産加工事業への取組による6次産業化を実現。</li> <li>直播栽培技術の普及と生産者相互の技術研鑽に向けた現地検討会、研修会の開催などにより、省力・低コスト稲作技術の定着と向上に貢献。学生等の研修受入れなど担い手育成に貢献。</li> </ol>
高橋 美喜子 （66歳）			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ひらや とうえい 平谷 東英 (64歳)	岩手県 野田村	養豚一貫経営 (法人)	1 規模拡大を進め、母豚1,000頭規模の大規模経営に発展。銘柄豚「南部福来豚」を地域を代表するブランド豚に育て、収益性を向上させるなど、先進的な経営を実現。  2 地域の循環型農業の促進に貢献。大学生や就農希望者等の研修などにより担い手育成に貢献。洋子氏は農家民泊による復興ボランティアの受入れや高齢者交流サロンの運営にも貢献。
ひらや ようこ 平谷 洋子 (60歳)			
ささき ひとし 佐々木 均 (69歳)	宮城県 仙台市	水稲・大豆 作・農産加工 経営 (法人)	1 農事組合法人を立ち上げ、特に震災後は移植と直播を組み合わせた栽培法の導入、多品種作付け、千賀子氏が主導する6次産業化等の取組により地域農業復興のモデルとして活躍。  2 両氏とも地域農業のリーダーとして活躍。特に震災後は復興の牽引役として活躍するとともに地域農業を支える次世代の人材育成に寄与。均氏は、農業委員会会長としても活躍。
ささき ちかこ 佐々木 千賀子 (69歳)			
はん だ かつ すけ 判田 勝補 (75歳)	秋田県 大仙市	水稲専作経営	1 複数の県育成水稲品種を率先して導入するとともに、直播栽培の導入による省力化、密苗栽培や乳苗移植栽培等にも取り組み、自らの生産性向上のみならず、技術普及にも尽力。  2 農協管内で稲作連絡協議会会長を長年にわたって務め、新たな栽培技術の導入推進に尽力したほか、土地改良区の理事長として地域農業全体の発展にも貢献。
みや かわ まさかず 宮川 正和 (60歳)	秋田県 大潟村	施設・露地野菜作経営 (法人)	1 ネギを中心に加工業務用に特化し、作業の機械化等により作付規模拡大。県外にも農場を確保し周年雇用とリレー出荷を実現。JGAPも取得。清子氏は法人の働きやすい環境作りに尽力。  2 若手農業者の育成に尽力し、県農業法人協会会長として協会の活性化に貢献。海外大学生の研修受入れなど国際的な人材育成に貢献。清子氏は野菜グループの活動や食農教育を推進。
みや かわ せい こ 宮川 清子 (58歳)			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
さきはら きょうじ 笹原 恭治 (80歳)	山形県 村山市	オウトウ専作 経営	1 オウトウの雨よけテント栽培を市内でいち早く導入して裂果を防止し安定した経営を実現。観光果樹園を開設し、経営の拡大・充実を図り、大規模栽培のモデルを提示。  2 大規模経営の実践により、地域のオウトウ経営の規模拡大を誘導し、産地拡大とブランド確立に貢献。首都圏の消費者と積極的に交流し、村山市のオウトウの知名度向上に貢献。
さいとう かずし 齋藤 一志 (65歳)	山形県 鶴岡市	水稲作・畜産 複合経営 (法人)	1 養豚経営の規模拡大を図りつつ、米の集荷・販売事業を展開。米の集荷基準設定により品質向上と均一化を実現。複数のスマート技術を取り入れた低コスト農業を実現。  2 地域に複式簿記と栽培の均一化による高品質米生産の重要性を説き、経営意識改革を推進。農業機械レンタル事業により低コスト化に貢献。県農業法人協会会長として、人材育成にも尽力。
きめざわ つぎお 木目澤 次男 (71歳)	福島県 泉崎村	酪農経営	1 乳牛の飼養管理や自給飼料の生産、資源循環型農業の取組等において、創意工夫による効率的な生産システムを導入し、1頭あたりの産乳量が地域平均を大きく上回る酪農経営を確立。  2 夫妻ともに地域の酪農協の役員等を務め、リーダーとして、酪農業の発展、若手農業者の育成、女性の地位向上に貢献。村内で最初に家族経営協定を締結し、男女共同参画に寄与。
きめざわ くみこ 木目澤 久實子 (64歳)			

(関東地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
ひろせ ゆきお 廣瀬 幸雄 (73歳)	茨城県 筑西市	水稲作・造園 複合経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 海外研修経験を活かした規模拡大や、県オリジナル酒米品種等を活用した地元酒蔵との連携による特色ある稲作を实践。造園部門の導入により周年雇用を実現し剪定残渣を堆肥還元。</li><li>2 県農業経営士協会に担い手確保育成部会を設立し、後継者確保・育成に貢献。農商工連携による地産地消や、造園を通じた地域人材の活躍の場の創出により地域に貢献。</li></ol>
やぎ さわひろお 八木澤 寛夫 (72歳)	栃木県 矢板市	肉用牛繁殖経 営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 水稲主体の経営から水稲と肉用牛繁殖の複合経営に拡大。個体管理による繁殖性向上と粗飼料多給による優良子牛生産を柱に、合理的でゆとりある大規模肉用牛繁殖経営を実現。</li><li>2 農協和牛繁殖部会長、県和牛改良協議会役員として、和牛繁殖の振興と和牛改良に貢献。研修生の受入れや後継者組織の活動を支援。農業委員として遊休農地解消等にも貢献。</li></ol>
ふくだ きぬえ 福田 絹江 (66歳)	栃木県 日光市	水稲専作経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 就農後4Hクラブに加入して組織活動に積極的に参加。手作り簿記や作業計画の作成、農産加工に取り組み、経営者のパートナーとして経営改善を実現。</li><li>2 女性農業士第1期生として女性農業者活動を牽引。農業委員として県内初の会長を務め、女性リーダーの育成にも取り組む。日光市農業委員会の女性割合は全国1位。</li></ol>
さいぐさ ひろゆき 三枝 博行 (74歳)	群馬県 東吾妻町	花き・タラノ メ作複合経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 時代の変遷やニーズに合わせた経営品目の転換により経営が発展。スプレーギクと山野草による花き類周年栽培体系を確立。タラノメ導入により冬季の所得を確保し経営を安定化。</li><li>2 スプレーギクにおける共同育苗や共選共販体制の整備に取り組み、産地の礎を構築。研修生の受入れによる担い手の育成や組織活動に尽力し、地域農業の振興に貢献。</li></ol>



氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やま した とく や <b>山下 徳弥</b> (65歳)	埼玉県 川越市	花壇苗・鉢物 作経営	1 パンジー、ビオラの秋出荷をはじめ流行に合った商品の開発、効率的できめ細やかな栽培管理で高品質花き大規模経営を実現。笑子氏は労務管理を担当し、取引先の拡大にも貢献。  2 日本農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を継承して独自の培養土を調整し、平地林の維持、防犯対策に貢献。担い手育成のため、研修生の受入れ、独立や就職就農を支援。
やま した えみ こ <b>山下 笑子</b> (64歳)			
なみ き かず しげ <b>並木 一重</b> (70歳)	東京都 足立区	花壇苗・花き 作経営	1 市場ニーズに応えた花壇苗生産により市場での信頼を確立。切り花からポット花壇苗生産に移行し、施設化とともに生産性・品質向上に努め、地域のリーダー的農家として経営を確立。  2 都花卉園芸組合連合会会長、農協理事等を務め、視察やイベントへの参加促進、事業活用等を通じ花き振興に貢献。農業委員として生産緑地の適正管理等により都市農地保全に貢献。
かね こ のり ひさ <b>金子 憲永</b> (72歳)	神奈川県 藤沢市	養豚一貫・食 肉加工販売経 営	1 規模拡大により経営基盤を確立。衛生管理の徹底と人工授精技術等の新技術導入により経営を安定化。直売所を開設し、おいしさを追求した精肉や加工品を地元で提供。  2 糞尿の堆肥化と畜舎汚水の適切な処理を実践。地域畜産会長等として飼料価格高騰対策や畜産排泄物処理対策に尽力。養豚業の体験学習など理解醸成に貢献。
いの また しげ のり <b>猪股 重教</b> (76歳)	山梨県 韭崎市	肉用牛一貫経 営	1 養蚕・果樹経営から出発し、乳用雄牛の導入から交雑種、黒毛和種の肥育へと経営の内容をステップアップ。黒毛和牛の一貫経営を県内で先駆的に実践。  2 地域の肉用牛生産のリーダーとして、先駆的な取組を後進に伝えるとともに、地域の耕種農家との連携による資源循環、耕作放棄地への放牧など地域農業に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
<small>あか ほり</small> <b>赤 堀</b> <small>あり ひこ</small> <b>有 彦</b> (70歳)	静岡県 牧之原市	茶業経営	1 品質と収量を高める芽重型の茶園づくりを実行するとともに、生葉出荷農家の連携システムを構築。野菜作を拡大し、経営体内での部門別経営の実践により経営拡大。  2 茶業研究会を創設し会長を務め、産地再生に貢献。農業経営士茶部会会長等を歴任し、ブランド被覆茶の取組を拡大するとともに研修受入れを通じ担い手育成に貢献。

(北陸地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
わた なべ こう じ 渡 辺 孝 治 (73歳)	新潟県 上越市	肉用牛肥育経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 乳用種の肥育から始め、徐々に増頭後、黒毛和種主体へと経営転換し、肥育技術を磨きながら規模拡大。高度な衛生管理手法を導入して肉の直売にも取り組み、安定した畜産経営を実現。</li><li>2 農業実習生等の受入れを積極的に行い、若手後継者の育成及び技術の習得に貢献。地元畜産物の知名度向上に尽力。耕畜連携による地域の資源循環と土づくりを推進。</li></ol>
さくらい けん しち 櫻 井 賢 七 (64歳)	新潟県 新発田市	水稲専作経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 作期分散や機械共同利用等により、家族経営による大規模稲作経営を確立。高温等の異常気象に対応した水稲栽培技術の構築・普及など、新潟米のブランド力向上に大きく貢献。</li><li>2 県指導農業士会長として県の農林水産関連施策の推進に貢献したほか、地域の大規模農業者として、担い手への農地の集積・集約の推進や若手農業者の育成に尽力。</li></ol>
おお ひら まさ ひろ 大 平 正 博 (74歳)	富山県 富山市	水稲・大麦・大豆・野菜作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 施設園芸でトマトとコマツナの周年栽培体系を確立。カドミウム汚染復元田の土づくりと省力安定生産技術を確立し、種子用を主とした稲・麦・大豆と野菜作の複合経営モデルを構築。</li><li>2 施設園芸組合長等として、市場ニーズに対応した産地形成への誘導に貢献。豊富な経験を伝え次代の担い手を育成するとともに、消費者と交流を図り、地域農業への理解増進に貢献。</li></ol>
まえ だ ただ お 前 田 忠 男 (67歳)	石川県 穴水町	野菜・果樹作 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 奥能登の国営農地開発地で先例のない野菜と果樹の大規模複合経営を実現。新規品目として、野菜苗の契約販売に取り組むとともに、観光農園構想を推進。</li><li>2 国営農地開発地での営農の定着と観光農園の基礎を確立。地域の範となり、農業後継者の人材育成に尽力。物産展出品や町内ワイナリーへの原料供給など町の農業振興策に貢献。</li></ol>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
やまざき しげのぶ 山 嵯 繁 信 (73歳)	福井県 越前町	野菜苗・花苗 作・しめ縄複 合経営 (法人)	1 水稲作で生計を立てることが困難な中山間地の 条件不利地において、地域から従業員を雇用 し、野菜苗・花苗生産としめ縄生産を取り入れ た複合経営を実践。  2 高齢者の農地の農作業受託とともに、青刈り稲 生産などにより耕作放棄地抑制に貢献。しめ縄 生産により農閑期の雇用を創出。美枝子氏は女 性農業者の地位向上に貢献。
やまざき みえこ 山 嵯 美 枝 子 (71歳)			

(東海地域 3名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
おがわ かつのり 小川 勝範 (78歳)	岐阜県 瑞穂市	水稲・小麦作 経営 (法人)	1 農事組合法人代表理事に就任し、会社員時代に培ったコスト低減意識のもと新技術や高性能農業機械を導入し大規模水田農業経営を実現するとともに、女性を含む後継者を育成。  2 農業法人の成長とともに、各種担い手組織の会長等に就き、稲作経営者の意見を集約するとともに行政へ提言。議員活動を通じ、水田農業を含めた農村整備に注力。
みずたに かずえ 水谷 一江 (57歳)	愛知県 豊橋市	施設イチゴ専 作経営	1 イチゴの生産規模を拡大しながら経営を展開。高設栽培や環境モニタリング装置及び移動式ベンチを導入。栽植株数の増加、収穫期間の延長を実現し高収量生産を確立。  2 イチゴ生産技術の地域への導入、新規就農者への技術伝授を支援。県農業経営士協会会長として農業振興に貢献。地元観光行事の企画運営や食育活動により地域農業の発展を推進。
いとう りょうこ 伊藤 良子 (64歳)	三重県 東員町	水稲・麦作経 営	1 父親を支援するためにUターン就農し、町初の女性認定農業者として活躍。労力軽減及び作期分散のため大麦・飼料用稲の導入を図り、現在は後継者とともにさらなる規模拡大を志向。  2 女性が能力を発揮できる場づくりに貢献。地域食材の再発見等の出前授業を行い、地産地消・食育活動を推進。農業委員会会長等として農地の利用集積、担い手の育成確保等を推進。

(近畿地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
寺井 治一 (80歳)	滋賀県 高島市	水稲・野菜作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 水稲作と肉牛繁殖の複合経営から、ほ場整備を契機に水稲作と野菜作の複合経営に転換。環境保全型農業や消費者への直接販売など地域の模範となる取組を実践。</li><li>2 農業者組織の活動で中心的役割を果たすとともに、直売所出荷物の品質向上や伝統野菜の復活など、地域の野菜作振興に貢献。指導農業士として青年農業者や県の人材育成に貢献。</li></ol>
上嶋 伯協 (66歳)	京都府 和東町	茶業経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 宇治茶本来のうま味と香りを引き出す製茶技術による品質向上と共同製茶工場の設立により安定的な生産と作業の効率化を実現。菓子製造会社とタイアップした商品開発等を展開。</li><li>2 環境と調和した新しい技術の探求やお茶のPR活動を行う組織を仲間とともに設立し、都市農村交流や国際交流などを展開。農外からの新規就農者を受け入れ、後継者育成に貢献。</li></ol>
中筋 博行 (74歳)	大阪府 富田林市	施設野菜作 (ナス・キュウ リ) 経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 施設栽培での半促成ナスと抑制キュウリの輪作体系を確立。雇用導入や販路開拓、事務作業の電算化、さらには機械化やブランド戦略により、地域トップクラスの農業経営を確立。</li><li>2 大量廃棄されるもみ殻を活用した堆肥生産に尽力。外国人実習生の受入れや多様な担い手育成に尽力。大阪府「農の匠」として食育や地産地消を推進。</li></ol>
岸本 一郎 (65歳)	兵庫県 丹波篠山市	水稲・大豆作 経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 地域の担い手として水稲を主軸に特産の丹波黒大豆を組み合わせた土地利用型農業経営を確立。先駆的に直売や6次産業化に取り組み、法人化により経営基盤強化を実現。</li><li>2 担い手への農地集約を先導。黒大豆枝豆を取り入れた経営モデルは地域の生産者へ波及。県農業経営士会副会長として農業者の育成と交流を牽引。</li></ol>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
つるたかずえ 鶴田和恵 (66歳)	奈良県 五條市	カキ・ウメ作 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 カキの早生品種「刀根早生」の導入やウメ加工で収益を向上。国営総合農地開発事業への参加と自己開墾により経営規模を拡大し、園内道の整備や機械化による省力化を実現。</li> <li>2 県指導農業士として、農業後継者の育成、家族経営協定の普及、女性の積極的な農業参画に貢献。観光農業や地域イベントを通じて消費者との交流を積極的に進め、果樹産地のPRに貢献。</li> </ol>
やましたしげいち 山下繁一 (70歳)	和歌山県 田辺市	ウメ専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウメ専作で漬け梅生産にいち早く取り組み、後継者を確保。スプリンクラー防除などによる栽培管理の省力化、漬込作業の効率化により、次世代にも魅力ある経営を実現。</li> <li>2 ウメ産地のリーダーとして「紀州梅干し」ブランドの維持に尽力。農業委員会委員として優良農地の確保、指導農業士及び新規就農者育成協議会委員として後継者育成に貢献。</li> </ol>

(中国四国地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
なす けい さく 那須 敬策 (74歳)	岡山県 岡山市	イチゴ専作経営	1 地域に先駆けてイチゴの空中採苗と小型ポット育苗を導入し、育苗の省力化を実現。労働負荷軽減のため高設栽培を地域で初めて導入し、県内での普及に寄与。  2 いちご部会長として、新品種の導入や出荷規格の改善による有利販売に寄与。県農業士として、就農希望者や県農業大学校学生の研修受入れなど担い手の育成に貢献。
しまづ ひろし 島津 宏 (68歳)	広島県 庄原市	リンゴ専作経営	1 複合経営からリンゴ専作経営に移行。先進地に出向き、雪害や台風対策、わい性台木等新技術を導入。完熟リンゴの出荷により固定客を獲得し、販売形態の多様化により経営安定を実現。  2 近隣のリーダーと連携し、地域のリンゴ産地の振興に貢献。県指導農業士会会長等の役職を歴任し、担い手の育成や経営力向上、行政に対する施策提言等に貢献。
やました かず ひさ 山下 和久 (67歳)	徳島県 阿南市	チンゲンサイ専作経営	1 チンゲンサイの周年栽培体系を確立し、地域での技術指導を行うなど産地化に尽力。新たな流通ルートを構築し、個人の経営のみならず、部会長として地域農業の発展にも貢献。  2 和久氏はまちづくり会長を務め高齢者買い物支援サービスの展開などに尽力し、由美氏は移住就農者や女性農業者の育成・指導に尽力するなど、過疎化に負けない農村づくりに貢献。
やました ゆ み 山下 由美 (65歳)			
ふけ しげる 福家 茂 (72歳)	香川県 高松市	カンキツ専作経営 (法人)	1 露地栽培のミカンからブドウ、温室ミカンへの転換を経て、収益性の高いカンキツの施設栽培を実現。積極的な新技術、新品種の導入により経営基盤を強化。  2 農業団体役員として地域の農業振興に貢献。果樹の安定生産や高品質化技術等の研究に対する協力や後継者育成に関わるなど、県全体の果樹生産振興に貢献。



氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
三船 正良 <small>みふね まさよし</small> (76歳)	愛媛県 新居浜市	養豚一貫経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家業の継承を機に繁殖肥育一貫経営に転換し、安定した経営の基礎を構築。家畜改良に取り組むとともに独自の飼料給与による豚肉の自家ブランドの作出・差別化を実現。</li> <li>2 耕畜連携による飼料米の有効活用や堆肥の円滑な循環など地域の模範となる取組を実践。地域の畜産クラスター協議会の設立や県域の養豚経営者協議会の組織強化・後継者育成に尽力。</li> </ol>

(九州・沖縄地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
おお た かん じ 大田 完治 (72歳)	福岡県 行橋市	水稲・麦作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新品種や新技術の導入を積極的に行うとともに、担い手不足の中、水稲・麦の面積を拡大し、耕作放棄地抑制に貢献。基盤整備を契機として経営規模を拡大し、経営体制を強化。</li> <li>2 県指導農業士として担い手の育成や普及指導員の研修に貢献。農業者のリーダーとして、地域内の基盤整備や農業研究会の活動を通じて産地発展に大きく貢献。</li> </ol>
まつ お まさ と 松尾 正人 (67歳)	佐賀県 小城市	施設ナス専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 両親のカンキツ・米麦経営から施設ナス・カンキツ経営に移行し、県の経営発展モデルを実践。研究機関と連携して積極的に新技術を導入し、施設ナスの技術確立に貢献。</li> <li>2 施設ナスの部会長として産地の発展に大きく貢献。地域リーダーとして担い手確保や若手農業者の育成、食育活動や都市農村交流など地域の活性化に大きく貢献。</li> </ol>
かわ かみ ひろ あき 川上 博昭 (73歳)	長崎県 松浦市	施設野菜(アスパラガス・メロン)作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 メロンの採光性を高める栽培技術を考案し、果実の歩留まり・品質向上に貢献。病害の発生低減及び労働時間の削減のために、アスパラガスでの点滴かん水技術を確立し普及。</li> <li>2 大規模な施設アスパラガス経営を行う新規参入法人に対して指導を行い、高単収を実現し、経営安定化に貢献。新規就農者等への技術支援を行うなど地域農業の振興に貢献。</li> </ol>
ふか み よし と 深水 吉人 (72歳)	熊本県 多良木町	水稲・麦・施設トマト作・農家民宿複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農事組合法人を設立し、地域の農地集積・維持に貢献。法人経営のメリットを生かし、連棟の耐候性ハウスを建築し、トマトの高収量・高収益生産を実現。</li> <li>2 吉人氏は、県内の集落営農組織の協業化・法人化を支援。良子氏は、地域における女性活躍に貢献するとともに、農家民宿によりグリーンツーリズムを推進。</li> </ol>
ふか み りょう こ 深水 良子 (71歳)		(個人・法人)	

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
まつもと きさく <b>松本 喜作</b> (72歳)	熊本県 芦北町	カンキツ専作 経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>甘夏の価格が低迷する中、デコポンを県内で初めて導入し、デコポン栽培技術の確立に寄与。芦北地域のみならず、県内各地域にデコポンを普及させ、県農業の発展に貢献。</li> <li>生産組合を設立し、農作業受託を通じて地域の労力不足の解消に貢献。移住者支援による地域活性化や農業研修生受入れに貢献。秀子氏が中心となってNPO法人を設立し農福連携を推進。</li> </ol>
まつもと ひでこ <b>松本 秀子</b> (68歳)			
はだ のもと ゆき <b>羽田野 元行</b> (72歳)	大分県 豊後大野市	施設ピーマン 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>これまでの露地栽培から雨除けハウスでのピーマン栽培を推進し、収益の向上を実現。苦みが少なく生で食べられる新品種を積極的に導入し、産地全体に普及。</li> <li>雨よけハウス栽培によるピーマンの栽培面積の拡大や共同選果施設の整備による規格統一に尽力し、産地の価値を向上。新規就農者の研修施設の立上げ等、担い手育成に貢献。</li> </ol>
きした ゆき はる <b>木下 行春</b> (66歳)	宮崎県 三股町	肉用牛繁殖・ 水稲作複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>水稲作の農作業受託による分業体制を構築し、地域農業の維持・発展に貢献。水稲及び飼料作物の作付面積を拡大し、自給飼料型の安定した肉用牛繁殖経営を確立。</li> <li>開業したそば道場を拠点としたグリーンツーリズムを実践し、農村や食文化への理解醸成を通じた農村の活性化に貢献。普及指導協力委員として研修を受け入れ、担い手育成に貢献。</li> </ol>
せと ぐち さぶ ろう <b>瀬戸口 三郎</b> (70歳)	鹿児島県 曾於市	カンショ・露 地野菜作複合 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>カンショと露地野菜のスイカ・ハクサイの輪作体系による複合経営を確立。カンショ・野菜の機械化体系の導入により作業効率を飛躍的に向上させ、規模拡大を実現。</li> <li>農協露地野菜部会長として共選共販によるスイカ・ハクサイの産地づくりに貢献。県指導農業者として、農高生や農大生などの研修生を積極的に受け入れ、担い手育成に貢献。</li> </ol>

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
ず け らんちょうゆう 瑞 慶 覧 朝 勇 (75歳)	沖縄県 北中城村	施設・露地野 菜作経営	<p>1 高設ベンチを活用した葉菜類の周年栽培を確立し、所得向上を実現。有機質資材を利用した土づくり及び減農薬栽培に取り組み、地域における環境保全型農業の普及を推進。</p> <p>2 農協と連携し、部会の立ち上げ等に尽力し、キクやサヤインゲンの産地形成に尽力。地区指導農業士連絡協議会会長など地域のリーダーとして、担い手育成や農業振興に貢献。</p>

## 緑白綬有功章（国外） 2名

（北米・南加支会 2名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
つづき むねあき 続木 宗秋 (78歳)	Fountain Valley カリフォルニア州 米国	樹木剪定 (法人)	1943年、岐阜県生まれ、1966年に渡米。1982年に植木剪定専門会社を設立。専門技師を常時雇用し、病院やゴルフ場等南カリフォルニア全域に顧客を持ち、日系社会では最大の樹木の剪定会社に発展。日米文化会館等で奉仕活動を継続。
おおわたり こうへい 大渡 浩平 (66歳)	Valley Center カリフォルニア州 米国	造園設計施工 (法人)	1956年、兵庫県生まれ。1981年に渡米し、造園会社を設立。渡米前に静岡県の造園会社で学んだ日本庭園の優れた点をもとに、南カリフォルニアの生活様式や文化、建築様式、気候や土壌、植栽を考慮しつつ、石と水を中心とし、ユニークで芸術的でありながら機能的なデザインを提案しつつ、米国全域で幅広く事業展開。

## 農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

### 緑白綬有功章（国内） 4名

氏名	住所	表彰事由
しょうじ 庄子みつ子 (73歳)	宮城県 仙台市	農作業衣等の改善や農家食料自給度向上など農家の生活改善を指導。地方野菜等を「ふるさとの味」としてレシピ化するなどにより食育活動を推進。家族経営協定締結や女性農業委員の登用、女性農業者の加工販売等起業活動を指導。退職後も宮城野菜ソムリエの会の食育部会長として親子現地食育研修や浜の震災復興支援活動を行うとともに、「みやぎの食を伝える会」の代表等として郷土食や食文化の伝承活動、小中学校での食育学習会で活躍。
ももせ きよあき 百瀬 清昭 (70歳)	山形県 鶴岡市	県立大学校において情報化等のカリキュラム充実、農業情報教育の拠点施設としての整備に貢献するとともに、農業者向けの情報を集約した「やまがたアグリネット」を開設。また、農業大学校校長として山形大学農学部や県内農業高等との連携による高大連携プロジェクトを発案・主導し、全国農業大学校協議会会長としても貢献。退職後は、鶴岡市立農業経営者育成学校の初代校長に就任し、新規就農者の経営安定と地域農業の安定・発展に寄与。
むら た つねのり 村田 恒徳 (71歳)	茨城県 水戸市	畜産担当及び農村青少年担当普及員として、畜産振興と農村青少年の育成に寄与。普及指導活動（青少年）担当専門技術員として、担い手確保育成体系の見える化等を推進。全国青年農業者育成研究会の会長、全国農業大学校等プロジェクト発表会の審査委員長等を歴任。普及センター長としてミズナ、カンショなどの産地で普及活動を展開。退職後は、農業大学校での学生の就農支援や各種研修講師、普及指導員資格試験の専門試験委員、地元農協理事等として活躍。
にし だ あきよし 西田 昭義 (72歳)	佐賀県 嬉野市	野菜担当普及員として、キュウリの品種・作型の転換、省エネ対策の徹底等により、高収益施設園芸の確立に寄与。干拓地で土壌・用水の塩分濃度調査を実施し、タマネギ等の産地の形成に貢献。普及方法の専門技術員として、若手普及員の研修を強化。園芸課副課長として「さがほのか」の普及拡大に尽力。退職後は、普及指導員資格試験の専門試験委員、市への技術支援や市農業委員会会長、JAの農業研修拠点施設の専任講師等として地域農業に貢献。

## 農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

### 緑白綬有功章（国内） 1名

氏名	住所	表彰事由
----	----	------

やなぎさわ 柳沢 (64歳)	あきら 朗 北海道 帯広市
----------------------	------------------------

長年にわたり小麦の品種育成に取り組み、各種形質の効率的な選抜法を確立するとともに、北海道の基幹品種である「きたほなみ」をはじめとする多くの実用品種を育成。特に「きたほなみ」は、めん用として最も評価の高い輸入小麦「ASW」に匹敵する品質を実現し、国産小麦の評価を一変させた品種であり、小麦育種における交配母本として利用されているなど、国産小麦の高品質安定生産及び育種水準の向上に大きく寄与。

元地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
農業研究本部十勝農業試験場場長

平成27年度（第71回）農業技術功労者表彰受賞

### 名誉賞状（グループ）（国内） 1団体

氏名	住所	表彰事由
----	----	------

かぶしがいしゃ 株式会社 めいじ 明治	東京都 中央区
------------------------------	------------

少子高齢化社会の進行と消費者の健康志向の高まりを踏まえ、乳酸菌の持つ機能性の解明と健康に効果のあるヨーグルト商品の開発に尽力。その結果、ビロリ菌抑制作用、免疫賦活多糖産生、プリン体吸収低減など、機能性を有する菌株を発見。おいしさを向上させる技術開発も駆使してプロバイオティクスヨーグルト商品を開発し、我が国で生産される生乳を原料として製造されるヨーグルトの市場規模の拡大に貢献。

平成28年度（第17回）民間部門  
農林水産研究開発功績者表彰  
農林水産大臣賞受賞

ふくい 福井 (59歳)	むねのり 宗徳
--------------------	------------

きむら 木村 (56歳)	かつのり 勝紀
--------------------	------------

かの 狩野 (50歳)	ひろし 宏
-------------------	----------

ほりうち 堀内 (50歳)	ひろし 啓史
---------------------	-----------

まきの 牧野 (48歳)	せいや 聖也
--------------------	-----------

やまだ 山田 (41歳)	なるおみ 成臣
--------------------	------------

## 本 会 功 労 者

### 紫白綬有功章（国内） 1名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
みわ えい た ろう 三輪 睿 太 郎 (79歳)	東京都 府中市	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその 功労を表彰（業務活動推進）

### 紅白綬有功章（国内） 2名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
こ ざい とよ き 古 在 豊 樹 (79歳)	千葉県 柏市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労 を表彰（業務活動推進）
たか の かつ み 高 野 克 己 (69歳)	東京都 杉並区	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功労 を表彰（業務活動推進）



## 農事功労者経営類型別一覧（国内）

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
紫白綬	複合	三重県	津市	亀井 輝忠	花苗・野菜苗作複合経営 (法人)	2
緑白綬	農産	北海道	美唄市	吉村 俊子	水稲専作経営	3
緑白綬	農産	青森県	青森市	飯塚 久雄	水稲専作経営	3
緑白綬	農産	宮城県	仙台市	佐々木 均 佐々木千賀子	水稲・大豆作・農産加工経営 (法人)	4
緑白綬	農産	秋田県	大仙市	判田 勝補	水稲専作経営	4
緑白綬	農産	栃木県	日光市	福田 絹江	水稲専作経営	6
緑白綬	農産	新潟県	新発田市	櫻井 賢七	水稲専作経営	9
緑白綬	農産	岐阜県	瑞穂市	小川 勝範	水稲・小麦作経営 (法人)	11
緑白綬	農産	三重県	東員町	伊藤 良子	水稲・麦作経営	11
緑白綬	農産	兵庫県	丹波篠山市	岸本 一朗	水稲・大豆作経営	12
緑白綬	農産	福岡県	行橋市	大田 完治	水稲・麦作経営	16
緑白綬	特産	静岡県	牧之原市	赤堀 有彦	茶業経営	8
緑白綬	特産	京都府	和束町	上嶋 伯協	茶業経営 (個人・法人)	12
緑白綬	野菜	秋田県	大潟村	宮川 正和 宮川 清子	施設・露地野菜作経営 (法人)	4
緑白綬	野菜	愛知県	豊橋市	水谷 一江	施設イチゴ専作経営	11
緑白綬	野菜	大阪府	富田林市	中筋 博行	施設野菜作 (ナス, キュウリ) 経営	12
緑白綬	野菜	岡山県	岡山市	那須 敬策	イチゴ専作経営	14
緑白綬	野菜	徳島県	阿南市	山下 和久 山下 由美	チンゲンサイ専作経営	14
緑白綬	野菜	佐賀県	小城市	松尾 正人	施設ナス専作経営	16
緑白綬	野菜	長崎県	松浦市	川上 博昭	施設野菜 (アスパラガス・ メロン) 作経営	16
緑白綬	野菜	大分県	豊後大野市	羽田野元行	施設ピーマン専作経営	17
緑白綬	野菜	沖縄県	北中城村	瑞慶覧朝勇	施設・露地野菜作経営	18
緑白綬	果樹	山形県	村山市	笹原 恭治	アウトウ専作経営	5
緑白綬	果樹	奈良県	五條市	鶴田 和恵	カキ・ウメ作経営	13

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
緑白綬	果樹	和歌山県	田辺市	山下 繁一	ウメ専作経営	13
緑白綬	果樹	広島県	庄原市	島津 宏	リンゴ専作経営	14
緑白綬	果樹	香川県	高松市	福家 茂	カンキツ専作経営（法人）	14
緑白綬	果樹	熊本県	芦北町	松本 喜作 松本 秀子	カンキツ専作経営（個人・法人）	17
緑白綬	花き	埼玉県	川越市	山下 徳弥 山下 笑子	花壇苗・鉢物作経営	7
緑白綬	花き	東京都	足立区	並木 一重	花壇苗・花き作経営	7
緑白綬	畜産	岩手県	野田村	平谷 東英 平谷 洋子	養豚一貫経営（法人）	4
緑白綬	畜産	福島県	泉崎村	木目澤次男 木目澤久實子	酪農経営	5
緑白綬	畜産	栃木県	矢板市	八木澤寛夫	肉用牛繁殖経営	6
緑白綬	畜産	神奈川県	藤沢市	金子 憲永	養豚一貫・食肉加工販売経営	7
緑白綬	畜産	山梨県	韮崎市	猪股 重教	肉用牛一貫経営	7
緑白綬	畜産	新潟県	上越市	渡辺 孝治	肉用牛肥育経営（個人・法人）	9
緑白綬	畜産	愛媛県	新居浜市	三船 正良	養豚一貫経営	15
緑白綬	複合	北海道	厚沢部町	木村 秀喜	水稲・ネギ作複合経営	3
緑白綬	複合	岩手県	紫波町	高橋 信 高橋美喜子	水稲・果樹作複合経営	3
緑白綬	複合	山形県	鶴岡市	齋藤 一志	水稲作・畜産複合経営（法人）	5
緑白綬	複合	茨城県	筑西市	廣瀬 幸雄	水稲作・造園複合経営	6
緑白綬	複合	群馬県	東吾妻町	三枝 博行	花き・タラノメ作複合経営	6
緑白綬	複合	富山県	富山市	大平 正博	水稲・大麦・大豆・野菜作複合経営	9
緑白綬	複合	石川県	穴水町	前田 忠男	野菜・果樹作複合経営（法人）	9
緑白綬	複合	福井県	越前町	山嵜 繁信 山嵜美枝子	野菜苗・花苗作・しめ縄複合経営（法人）	10
緑白綬	複合	滋賀県	高島市	寺井 治一	水稲・野菜作複合経営	12
緑白綬	複合	熊本県	多良木町	深水 吉人 深水 良子	水稲・麦・施設トマト作・農家民宿複合経営（個人・法人）	16
緑白綬	複合	宮崎県	三股町	木下 行春	肉用牛繁殖・水稲作複合経営	17
緑白綬	複合	鹿児島県	曾於市	瀬戸口三郎	カンショ・露地野菜作複合経営	17



公益社団法人 大日本農会

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号

三会堂ビル7階

電話 03(3584)6739番

FAX 03(3584)0573番